



No.522

治安維持法犠牲者
 国家賠償要求同盟
 編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都
 文京区湯島2-4-4
 平和と労働センター・全労連会館
 電話 03(5842)6461
 FAX 03(5842)6462
 E-mail
 chian@bz03.plala.or.jp
 頒価 50円

第28回全国女性交流集会全体会 (2017年11月12日 静岡県熱海市)

「種まく人びと」上映大運動で会員拡大を 全会員の力で創立50周年を成功させよう

「この会場で入りました」「2週間前に入ったばかりです」というほやほやの新入会員からベテラン会員までが集まった第28回全国女性交流集会は11月12・13日、静岡県熱海市のニューウェルシティ湯河原で開かれ、北海道から沖縄を含む35都道府県から96人が参加しました。

開会あいさつにたった大石喜美恵女性部長。「日ごろの活動を交流し合い、パワーアップし、来年3月15日の創立50周年に向けた会員2万人達成にがんばりましょう」と呼びかけました。

畑野君枝衆議院議員がかけつけ激励のあいさつ。妨害を跳ねのけ市民と野党の共同が継承された、

女性部の活動・交流では5府県の代表が報告。青森県の代表は、地元テレビが、「反戦と労働者の権利擁護に生きた相沢良」のタイトルで放映したと紹介。新潟県の代表は、来年の3・15、4・16記念集会は「新潟女性のつどい」を開催と報告しました。

(2ページへつづく)

いきいきと 第28回全国女性交流集会

講演「時代の証言者 伊藤千代子」に感激

皆さんの粘り強い活動が生かされ、「共謀罪」のたたかいでは同盟のみなさんの協力をえましたとべました。

犠牲者の遺族として、東京の安藤郁子さんと、「群馬県『滝川村』(現、高崎市滝川地区)の治安維持法犠牲者」を執筆した菊池誠一さんが発言しました。

主な記事

- 第28回全国女性交流集会 1
- 「私も一言」／松本由理子 3
- 抵抗の群像／藤野勇「八日市読書会事件」 4
- 同盟文芸／短歌・俳句・川柳 5
- 同盟回顧／2017年 6

(1ページからのつづき)

意を表明しました。

第63回日本母親大会の様子を発言した岩手県の代表。兵庫県の代表は女性部を18人から81人に拡大して交流集会に参加したと報告。

増本一彦会長は、「戦争する国づくり、憲法改悪を許さない」運動を大きく発展させる先頭にぜひ女性会員が立つてほしいと訴えました。当面する課題について田中幹夫事務局長が報告しました。

代の証言者 伊藤千代子」と題して講演。千代子の活動と生涯を語り、参加者に感動をよびました。4つの分散会では、全員が発言し、活発な論議がおこなわれました。初参加の17人は若者から熟年者まで。女性部活動の意義がよくわかったと発言していました。

大阪府の代表は、33%の女性会員を当面40%に、50周年までに100人の仲間づくりをしないと決

した。藤田廣登中央常任理事が、「時

青森県は、三戸、八戸地域での11月18日の支部結成にむけ「種まく人びと」上映会を40人で開き、11人を拡大して24人で結成総会を開催。さらに東青支部と西北支部も各2人ずつ増やして、400人の県目標達成まであと2人に迫っています。

来年、3月15日の創立50周年記念日まで3ヶ月に迫りました。6月の第38回全国大会では、安倍政権の「戦争する国づくり」を許さないために2万人の闘う同盟を建設することを決めました。

9月の常任理事会では、これを実現するために

千葉県本部は、300人の県目標を超過達成しました。県都千葉支部はあらゆる機会に「種まく人びと」をと、共産党後援会のバス旅行の車中で上映し7人、

は、共謀罪廃止・9条改悪

反対闘争の先頭に立って市民との結びつきをひろげ、「種まく人びと」DVD上映小集会を無数に開き入会を訴える。各県本部は来年3月までに(起点は大会現勢6月1日から)5人以上の拡大に挑戦する会員11チャレンジャーを何人組織するか、目標を持って取り組む。各県本部は、特別期間などを設け、力を集中することが重要などを決めました。突然の総選挙で計画がずれ込みましたが、前進がはじまっています。

千葉県が会員拡大自主目標を突破 全県本部・支部の奮闘を心からよびかけます

中央本部会長 増本一彦

救済会と共催の上映

の車中で上映し7人、

各県本部・支部が、目標と期限を明確にし、「種まく人びと」上映会の計画を具体化する。拡大を成功させるためには、だれを、いつ、どこで、を明確にすることが不可欠です。

健康に留意しつつ年内、そして新年への精力的な取り組みを心から訴えます。

健康に留意しつつ年内、そして新年への精力的な取り組みを心から訴えます。

健康に留意しつつ年内、そして新年への精力的な取り組みを心から訴えます。



ソ連崩壊後、独立した中央アジアのウズベキスタン。国土は日本の1.2倍、他国を2回越えなければ海に達することができない二重内陸国で137もの民族が共存している▼筆者は9月にこの国を訪ねた。シルクロードの中継地として東西の文化が交差し、文化遺産も多い魅力ある国だった。親日家が多く、どこへいっても笑顔で手を振ってくれた。とくに、こどもの笑顔が明るかった▼ソ連時代、綿花栽培のモノカルチャー経済を押しつけられ、綿花生産はソ連全体の7割を占めた。母国語はウズベク語なのにロシア語を強要されたこともあった▼独立後の小国の経済運営は難しい、だから「我々の子どもは我々よりも賢く育たなくてはならない」をスローガンに、国家予算の4割を教育に充てている▼小学校が4年、中学5年、高校が3年制で、7歳から18歳までが義務教育だ。給食以外は無料で、大学進学率も75.8割と高い。医療も無料だ▼さまざまな困難な問題をかかえながらも国家建設に励む姿を見ることができた。

(七)

千葉市支部が会員拡大で奮闘

「種まく人びと」上映会などで15人拡大

千葉県本部は、このほど300年度末(18年3月末)までに80人という会員目標を達成しました。の組織にしようと思統一。さつ若く、11月12・13日の日本共産党千葉市後援会の一泊旅行で、「種まく人びと」を車中で上映、署名会を訴え、会員5名、DVD3枚を寄せられました。反応は

いわさきちひろが、私の人生を切り 制支配の政治―ファシズムである」と。

開いてくれた恩人と話していた方が、 ちひろは、後日、こんな言葉を残しています。

菊池邦作さんです。菊池さんとの出会 「戦争が終わって、はじめてなぜ戦争がおきるのか いは敗戦の翌年の一月、共産党の演説 ということが学べました。そして、その戦争に反対 会でした。「共産党は恐ろしいか」と して牢に入れられた人たちのいたことを知りました。

治安維持法の復活は許せない!

松本由理子

殺された人のい ることも知りま した。大きい感 動をうけました。

という題で、自分が治安 維持法で何度も捕まり、 拷問を受けたことなど を話されました。

「侵略戦争に反対し、天皇ではなく国民が主人公 だということを主張しただけで、党員やその同調者 が牢に入れられたり、拷 問されたり、殺されたり した。残虐で恐ろしいの 持法の復活を許すことはできません。



が牢に入れられたり、拷 問されたり、殺されたり した。残虐で恐ろしいの 持法の復活を許すことはできません。

(ちひろ美術館・東京 元副館長)

た。

「種まく人びと」は、観た人の 心を揺さぶり、安倍暴走政治が續 くいま、国賠同盟の運動が極めて 重要な現代的課題であることを印 象深く明らかにしてくれるようです。(小松実・県本部会長)

大阪府本部眞殿天童副会長 会員18人を増やす

大阪府本部の眞殿天童副会長は、 6月の全国大会に初参加しました。

眞殿さんの父・久治さんは、 「昭和8年2月22日、26歳で特高 に拘留、理由は、昭和5年8月全 協に加入、日本金属東京支部執行 委員」として活躍、治安維持法で 弾圧されました。父の姉と妹は、 結婚せずに一生を送りました。

苦難の道を歩んだ家族への謝罪 と賠償実現のためには、大きな同 盟が必要と、毎年の会員拡大目標 を15人に決めました。

拡大の対象者は、地元住吉支部 と元勤務先の友人・知人に地域版 「不屈」、「国会議員のみなさま へ」リーフを渡して署名の協力で 入会を訴え、今、18人です。

抵抗の群像



「八日市読書会事件」の藤野勇

藤野勇さんは1913(大正2)

年にアメリカのカリフォルニアに生まれた。父の千太郎さんは、長男の藤野さんの小学校入学のため1925(大正14)年に帰国し、滋賀県八日市町(現東近江市)でA・B・Cカフェを開いた。

1928(昭和3)年、小学校高等科を卒業した藤野さんは「早稲田講義録」などで独学を続けながら『中央公論』や『改造』を読み始め、『戦旗』で小林多喜二の小説や蔵原惟人の評論に接した。そして岩波文庫の『反デューリング論』、『フォイエルバッハ論』、『自然の弁証法』などを熱心に読んだ。

1932(昭和7)年、19歳の藤野さんは、「ソヴェート友の会」に連絡をとり、「友の会」の新聞や進歩的な書物を友人に回覧したり、小学校時代の同窓生を集まって「ダベツ」(雑談)としていた。

この動きが警察に察知された。「青年が数人ある隠れ家に時々集

まって共産主義を研究している」という聞き込みがあり(32年9月頃)

：町内の某カフェに客を装っていた視察係がその長男(藤野勇さん)の挙動に不審の点があったので、極秘裡に内偵を続け：青年6名が『ソヴェート友の会』を結成して東京本部から共産主義宣伝の印刷物を買入れ、：大胆にも八日市小学校図書室を借りて通俗雑誌の『読書会』と称して：秘密裏に共産主義の研究、実践方法を密議していることを探知し同年10月上旬頃(10月10日早朝)、県特高課の指揮のもと、藤野さんら六

人の青年が検挙された(滋賀県警部内機関誌『近江警友』第一巻第四号1955年7月発行11福山松翠「警察生活回顧18年(三)」による)。

特高はこの検挙を「八日市読書会事件」と呼んだが、藤野さんによると「ダベツってただけで、読書会まではいつていない」。しか

し特高は「読書会」と認定し、検挙された藤野さんは「上部はただだ。指導者はだれだ」と追及された。しかし「上部」などいるはずもない。

そこで「まだ実践行動をしていなかった」ので、送検せず厳重訓戒処分」で済んだ。しかし一方で「検挙がもう1ヶ月遅ければ八日市にソヴェート友の会を結成し、破壊活動に入る計画であったと容疑者は取調官に語って」いた(前掲『近江警友』)と、治安維持法による目的遂行罪適用を狙っていたのも事実だ。

釈放された藤野さんに、父の千太郎さんはなにも言わなかったが、お母さんは「泣いて、泣いて」、藤野さんは困った。

藤野さんのちに軍隊に召集されたが、この事件は身上書に記載されており、伏見連隊では連隊長に呼ばれて「なぜ共産主義に賛成したのか」と尋問された。中国の戦場に狩り出された時にも、将校から同じ尋問を受けた。藤野さんは戦時中、ずっと「要注意人物」だったわけだ。藤野さんは口をつぐんで戦時を生きたが、「戦争に

反対」の気持ちは変わらず、日本軍国主義の敗北を必然と見る気持ちがあり、独ソ戦の動向に関心があったという。

藤野さんは除隊後の1941(昭和16)年、徴用工にとられたが、技術を身につけて八日市の松原鉄工所に勤務、技術を持つゆえに「召集延期」を求め続けた。

そして1945(昭和20)年8月14日、「明日、重大発表がある」と聞いて、「戦争は敗けた」と思った。8月15日、藤野さんは「うれしかった。もう爆撃もないし、軍国主義は終わりだ」と思い、うれしくて、自転車で街を走り回った。青春時代の社会科学の学習が、敗戦の日を「喜んで迎えた」藤野さんをつくったのである。

1946(昭和21)年2月28日、当時の『滋賀新聞』に「共産党支持者に告ぐ」という入党よびかけの広告が出た。これを見て3月10日、藤野さんは大津の日本共産党滋賀地方委員会を訪れ、入党の手続きをとった。

(1996年4月、同盟県本部の(故)小嶋昭道会長、西田清による聴き取りによる)

同 盟 文 芸

短 歌

碓田のぼる選

北の脅威煽りて軍拡進めんと日米首脳の危なき一致

岐阜県 和田 昌二

甘柿か渋柿かは分からねど車窓より見る鈴生りの柿

岐阜県 和田 昌二

病む妻の世話を済ませて午前四時外に出ずれば満月

大分県 渡辺 幹生

浮かぶ 白鳥が竿とも鍵ともなりて飛ぶ寒さ増したる岩鷲の

岩手県 小杉 正夫

脈々と受け継がれ来しカメジローの不屈の魂を米軍

静岡県 江川 佐一

恐れし 中国電力はコスト高なるを口実に再稼働急かす民意

鳥取県 大久保禮吉

を拒み 岩国は十人に一人が米軍の関係者という町へと変貌

島根県 小玉 信恵

平和賞受賞に首相知らぬ顔被爆の国の人でないのか

埼玉県 福家 駿吉

ガン術後余命を生きて秋選挙野党共闘望み託せり

福井県 元山章一郎

ミサイルを飛ばして他国脅かしぬ北朝鮮の蛮行許さぬ

兵庫県 岸本 守

（選のあとに）激動的な2017年最後の歌壇となりました。皆さんの一年間のご投稿に感謝します。

新しい年はさらに、「不屈」歌壇の名にふさわしく、

深く、強く、豊かな言葉での意欲的な作品を、ぜひ！

俳 句

望月たけし選

平和賞受けてヒバクシヤ月天心

埼玉県 小池 荘八

冬耐えて四十年の拉致帰せ

石川県 野村 芳泉

コスモスや東北今だに蘇生中

三重県 橋本しげる

扇のアート街路樹の銀杏散る

鳥取県 大久保禮吉

共闘の二文字太く秋ともし

神奈川県 天野三葉子

（評）一句目、世界が評価しているヒバクシヤ活動。だがまだ道はなかば。政府のアメリカ追従が災いだ。四句目の「扇のアート」とはタッチがいい。3・11も拉致も急げ。

.....

川 柳

鈴木いさお選

核なくす人智輝くノーベル賞

大阪府 大和 峯二

被爆者に世界は動く平和賞

埼玉県 福家 駿吉

（評）世界から核を廃絶する意味で、今年のノーベル平和賞は賞賛に値する。それにひき換え、核廃絶国連決議に参加しない唯一の被爆国があまりにも情けない。

拍手を打って手にしたビール瓶

大阪府 佐々木雅博

九条守れ改憲ノ一の政権を

大阪府 堺谷 肇夫

国難と国民騙しあとゴルフ

埼玉県 小室 仁彌

今年一年間、たくさんのお応募ありがとうございます。来年もよろしくお願ひします。なお、新年号は「年間秀作選」発表になりますので募集は休みます。

創立50周年記念会員拡大 5人以上の顕彰者

創立50周年記念めざした会員拡大で、5人以上に挑戦して目標を達成した方々を顕彰し、県名と氏名を順次発表します。

なお、10人以上拡大した方には、副賞として「種まく人びと」DVDが、3月発行の『抵抗の群像』第3集のいずれかを贈呈します。

【北海道】

野瀬義昭（釧路支部長）

天城正則（釧路事務局長）

【東京】

森山康平（板橋支部）

【大阪】

眞殿天童（府本部副会長）

塩田一行（本部事務局長）

【広島】

二階堂洋史（原本部理事）

【岡山】

近藤紗智子（原本部常任理事）

福井正樹（原本部事務局長）

中島守明（岡山支部長）

【中央】

増本一彦（本部長）

田中幹夫（本部事務局長）

同盟回顧

2017年

- 1月11日 全労連会館新春昼食懇親会
- 1月15・16日 「不屈」編集会議合宿
- 1月18日 「共謀罪」法衛反対街頭宣伝
- 1月19日 「共謀罪」法反対院内集会
- 1月25日 日本人権委員会代表者会議
- 1月26日 母親大会第1回実行委員会
- 2月1日 中央三役会議・国際部会
- 2月2日 中央常任理事会／女性部会
- 2月11・12日 国民救援会中央委員会
- 2月19日 差別・貧困ノ12・19集会
- 2月21日 第29回多喜二祭(東京)
- 2月22日 国際人権活動日本委員会幹事会議／母親大会実行委員会
- 2月28日 「平和の権利」実行委員会
- 3月1日 「共謀罪を粉碎しよう」同盟パンフ発
- 3月1日 国際女性デー中央集会
- 3月18日 第70回解放運動犠牲者合葬追悼会
- 3月21日 国際人権活動日本委員会幹事会／共謀罪「閣議決定」官邸前抗議行動



- 3月30日 「平和への権利」院内集会
- 4月16日 東京都本部40周年記念集会／国際人権活動日本委員会幹事会
- 4月17日 創立記念映画「種まく人びと」完成試写会
- 4月18日 三役会議／国際部会
- 4月19日 中央常任理事会／50周年実行委員会
- 5月3日 平和といのち人権を！憲法集会
- 5月15日 「平和の権利」実行委員会の権利」実行委員会
- 5月16日 国会請願への各党へ挨拶要請／国際人権活動日本委員会代表者会議
- 5月22日 国会請願行動／「犠牲者」4氏記者会見
- 6月8・9日 第38回全国大会(全労連会館)
- 6月15日 共謀罪の採決強行抗議集会へ



国内外のうごき

- 12月30日 シリア内戦で停戦合意
- 1月9日 米F35B、岩国に向け出発
- 1月24日 軍事通信衛星打ち上げ
- 1月25日 CELAC、核兵器禁止条約推進
- 1月27日 16年消費者物価、4年ぶり減
- 2月1日 国連事務総長、米入国禁止解除要請
- 2月7日 南スーダン陸自部隊日報「あった」
- 2月8日 4野党、法相辞任要求で一致
- 2月12日 北朝鮮、弾道ミサイル発射
- 2月15日 4野党、防衛相辞任で一致
- 2月17日 建設アスベスト、国に賠償命令
- 2月17日 米軍ヘリ、吊り荷落とす
- 3月8日 南スーダン自衛隊撤収へ
- 3月10日 韓国憲法裁、大統領罷免
- 3月10日 礼状のないGPS捜査は違法
- 3月15日 「共謀罪」法案、閣議決定
- 3月21日 高浜原発差し止め覆す
- 3月28日 政府、核兵器禁止会議不参加
- 3月29日 韓国朴前大統領逮捕
- 3月31日 米、シリア空軍基地攻撃
- 4月6日 種子法廃止法案可決
- 4月14日 4原発5基の廃炉計画認可
- 4月19日 日本郵政、400億円の赤字転落
- 4月25日 安倍首相、9条に自衛隊明記表明
- 5月3日 仏次期大統領、マクロン氏
- 5月7日 「加計疑惑」、「総理の意向」文書
- 5月13日 スイス、脱原発承認
- 5月21日 統幕議長、安倍改憲「ありがたい」へ
- 5月24日

6月17日 日本共産党中央委員会へ三役
表敬訪問

6月20日 国際人権活動日本委員会幹事
会

7月18日 「平和
の権利」実
行委員会

7月19日 国際人
権活動日本
委員会

7月25日 関東ブ
ロック会議準備会

8月15日 終戦記念日全国一斉宣伝

8月19・20日 第63回日本母親大会

8月22日 オスプレイ飛行中止求める防
衛省要請/国
際人権活動日
本委員会幹事
会

8月29日 「平和へ
の権利」実行
委員会

9月6・7日 東北
ブロック会議

9月7・8日 近畿ブロック会議

9月9日 東京都本部大会

9月10・11日 中国ブロック会議

9月20日 国際人権活動日本委員会



9月20・21日 北信越ブロック会議

9月27日 「平和の権利」 実行委員会
9月28日 三役会議/国際部会

9月29日 中央常任理事会/女性部会
10月3・4日 九州・沖縄ブロック会議

10月5・6日 東海ブロック会議
10月16・20日 中国平和連帯の旅

10月23・24日 関東ブロック会議
10月24日 国際人権活動日本委員会幹事会

11月3日 安倍9条改
クシヨン11・
3国会包囲行
動

11月7・8日 北海
道ブロック会議

11月12・13日 第28
回全国女性交
流集会

11月21日 第3回東
北ブロック県
本部交流会議

11月22日 創立50周年記念集会イン関西
実行委員会/近畿ブロック交流会

11月25・26日 第2回「青年交流会」イ
ン高知

11月27日 特別国会での国会請願行動

12月5日 国際人権日本委員会法務省要
請行動



6月1日 大企業内部留保、400兆円超

6月1日 米、パリ協定離脱表明
6月6日 高浜原発3号機再稼働
6月8日 4野党党首、9条改憲反対一致

6月20日 小池知事、豊洲移転表明
6月22日 4野党、臨時国会開会要求

6月27日 子ども貧困率、13・9%
7月2日 都議選、自民惨敗・共産勝利

7月11日 「共謀罪」法施行
7月28日 稲田防衛相、日報隠蔽辞任

8月9日 長崎市長、核禁条約参
加要請

8月12日 米、ユネスコ脱退表明
8月29日 北朝鮮ミサイル発射

9月1日 民進党新代表、前原氏
9月3日 北朝鮮、核実験強行

9月4日 9条改憲ノ、3000
万署名提起

9月11日 安保理、北朝鮮制裁決
議

9月25日 首相、消費税増税宣言
9月28日 安倍首相、衆院解散・総選挙へ

9月28日 民進、「希望」への合流決定
10月2日 枝野氏、立憲民主党立ち上げ

10月11日 東村高江に米軍大型ヘリ墜落・炎上
10月22日 衆院選、改憲勢力3分の2超

10月26日 岡田氏代表に新会派結成
11月6日 辺野古、新護岸工事着工
11月14日 希望の党小池代表が辞任
11月19日 沖縄飲酒米兵、死亡事故



第2回青年交流集会 in KOCHI 自由民権の郷で学習と交流



「第2回治安維持

法犠牲者のたたかいと抵抗の歴史に学ぶ青年交流集会 in KOCHI」

が11月25日(土)の26日(日)の両日、高知市の共済会館にて開催されました。県内外から約50人が参加しました。

第1日目の11月25日、岡村正弘・治安維持法国際同盟高知県本部会長

山添拓参議院議員(日本共産党)

は、先達の不屈のたたかいと、それを支えてきた人びとの力に学び、新しい政治を切り開く力量を蓄積していく展望を話しました。

先の総選挙で四国比例候補としてたつた白川容子さんは、捲土重来を期す決意を表明しました。増本一彦中央本部会長の基調報告では、2018年の同盟創立50周年に向けて、全国での支部結成と2万人会員達成を訴えました。

記念講演は詩人の猪野睦さんで、演題は「中江兆民の先駆性」です。第2日目のフィールドワークは市内見学で、高知を知る機会となりました。

訃報

小口巽さんが死去

小口巽さん(中央本部顧問)は、11月9日死去されました。享年88歳。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

【訂正】本紙前号5ページ「顕彰碑」の「コシヤマン記」は「コシヤメイン記」に訂正します。

年末の「財政活動強化」を心から訴えます

会員と読者のみなさん、日頃のご協力に感謝申し上げます。今年も残すところ僅かに近づきました。ぜひ、年末の財政活動強化にご協力ください。

一、全会員が本年度会費の納入に「協力を

二、創立50周年記念2000万円募金にご協力を

三、「年末募金」(100円、1000円)にご協力を

四、新年名刺広告の組織・新規拡張にご協力を

五、「治安維持法と現代」各種パンフ・DVDなど

「同盟」発行の出版物の購読と普及に「協力を

反戦ピラをまくなご侵略戦争に反対した治安維持法犠牲者の運動に言及、ふたたび暗黒政治を許さないためのたたかいを受け継いでいくことを呼びかけました。

2017年秋季号

『治安維持法と現代』

好評発売中

治安維持法と現代



【主な内容】「憲法を生かす」を政治の本流へ＝石川康宏・神戸女学院大学教授。北朝鮮核問題の外交的解決を＝川田忠明・平和委員会。教育勅語、その歴史と問題点＝藤田昌士・元立教大学教授。(エッセイ)「大戦起る この日のために獄をたまわる」＝殿岡駿星・夢道研究家。治安維持法下の弾圧 群馬県「滝川村」の治安維持法犠牲者＝菊池誠一・昭和女子大学教授。松本平の治安維持法＝手塚英男。岡山の3・15弾圧と民主的医療運動の先駆者大栗清實＝松岡健一。治安維持法と弁護士―「労農弁護団事件」中心に＝関 勲など。

A5判 定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

発行 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟